

# 視 点

## 病院の構造不況対策を

今の日本の病院は構造不況といってもいいだろう。7割の病院が赤字だし、病床を減らす病院も多い。人材が確保できない病院も増えている。建替えやIT・AI投資もままならない。周知のとおり、日本の病院8100施設のうち7割は200床未満であるし、8割は民間病院である。つまり、日本では高齢化に伴う医療需要の増大に中小民間病院で対応してきた。そして、今、医療需要の変化で経営に行き詰まりを感じているのは、中小民間病院である。

厚労省も手をこまねいていたわけでもない。今年の診療報酬改定では13.09%の引き上げで、賃上げや物価高騰への対応を図った。また、新たな地域医療構想では、病床再編だけではなく、外来・在宅医療、介護との連携まで対象を広げ、地域包括ケアを目指している。

しかし、診療報酬というのは一時しのぎの対策だし、地域医療構想も関係者間でコンセンサスを得ながら変えていく誘導策に過ぎない。これらで実効が上がるとは思えない。そもそも構造不況対策というのは、無もう元には戻らない不況の産業を、無理に延命させるのではなく、縮小・再編・転換させる政策である。代表的な対策は、過剰設備の処理、事業の再編・統合、新しい事業への転換、失業者の雇用対策などである。

現に、1床あたり410万円の病床削減補助には希望が殺到している。今後はさらに、医療法人同士の合併策、公的病院と民間病院の合併、医療法人と社会福祉法人の垣根の解消、医療DX・AIの公的基盤整備、病院事業から高齢者住宅などへの事業転換などの大胆な構造不況対策が必要になってくるだろう。

# 社会保険旬報 目次

No.3012 2026年9月21日

## 座標

- 一部保険外療養で中医協に諮問  
医師の時間外労働縮減方針示す ..... 4
- 2025年出生動向基本調査結果を公表  
対がん協会が患者のAI利用を調査 ..... 5

## インタビュー

- 診療報酬の経済・物価動向等踏まえた調整  
物価対応料とベースアップ評価料を念頭に  
宮崎 敦文 ..... 6

## レコーダ

- 医療経済フォーラム・ジャパン  
第128回定例研修会  
大手調剤薬局3社のビジネスモデルと今後の展望  
三島 重顕 ..... 10

## 論評

- 社会保障改革の骨子の主要項目をめぐる  
論点と考察(2)  
島崎 謙治 ..... 20

## 随想—視診・聴診

- またか  
高山 哲夫 ..... 30

## 全世代型社会保障への道筋②⑤

- 働き方の多様化と制度の整合性  
山崎 泰彦 ..... 31

## 潮流

- OTC類似薬の保険給付見直しを議論 ..... 32
- 骨太方針を受け医学部の定員数削減へ ..... 34
- 費用対効果評価制度の検証結果を議論 ..... 36

## NEWS

- 日医が医療の消費税の取扱い  
見直しで税制改正要望 等 ..... 37

- 経済スコープ ..... 41

- 編集室・ワードカプセル ..... 42